

民主党・市民クラブ行政視察  
宮崎県庁、宮崎市役所

～視察報告書～

2007.12

板橋区議会議員 田中 やすのり

## 視察目的と概要

### 【視察目的】

教育政策で先駆者的な取り組みを行っている宮崎市の政策、災害発生が多発した宮崎県の防災活動を把握し、施策の特長や取り組みの利点を認識する。  
そして、視察によって得られた知見を基に、板橋区施策への有効転用の方策を考察する。

### 【視察日程】

月日	時刻	行程
12月17日 (月)	8:30	羽田空港 集合 (第2ターミナル2F 出発ロビー 4番時計台下)
	9:30	羽田空港 発 (ANA603便)
	11:15	宮崎空港 着 〔昼食〕
	12:16	宮崎空港駅 発 (JR宮崎空港線)
	12:26	宮崎駅 着
	(13時前)	タクシーで宮崎市役所へ (10分程度)
		宮崎市役所 着 本庁舎2F 議会事務局へ (ご担当) 議事調査課 本(もと)様 TEL:0985-21-1887
	13:00	視 察 【宮 崎 市】
	17:00	視察終了
		ホテルブラザ宮崎 泊 宮崎県宮崎市川原町1-1 TEL:0985-27-1111
12月18日 (火)	9:30	ホテル 発 徒歩で宮崎県庁へ (10分程度)
	10時前	宮崎県庁 着 1号館5F 危機管理室へ (ご担当) 危機管理室 並河(なみかわ)様、近藤様 TEL:0985-26-7064
	10:00	視 察 【宮 崎 県】
	12:00	視察終了
	(昼食後)	〔昼食〕
	14時過ぎ	宮崎駅 発 (JR線)
	15:10	宮崎空港駅 着
	15:10	宮崎空港 発 (ANA3758便)
	16:40	羽田空港 着

### 【視察議員】

すえよし不二夫(幹事長)  
橋本ゆうこう  
高橋正憲  
松村けい子  
佐藤としのぶ  
高澤一基  
長瀬達也  
田中やすのり

計8名

## 視察内容と見解

視察先	視察テーマ	視察内容	視察を経ての見解
宮崎県 宮崎市	障害者 ワークサポーター事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の職場定着を支援するボランティアとして、ワークサポーターを要請し、事業所等に派遣することにより離職者を抑制する事業。</li> <li>・運営体制は、チーフサポーター1名、サブチーフサポーター2名程度、ワークサポーター20人名程度。予算は9,992千円。</li> </ul>	<p>障害者の就労支援だけでなく、就業後の利殖を抑制し、就業の継続を支援することに主眼を置いて、ボランティアが施策展開している点が注目に値する。板橋区にもハートワークの定着支援事業があるが、施策拡充にあたってはボランティアの活用を検討していきたい。</p>
宮崎県 宮崎市	読書アシスタント 派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の教育委員会が計画する年三回の学校図書館教育を受けた「読書活動アシスタント」を全小中学校に派遣し、児童の読書活動の充実を図る事業。</li> <li>・全小中学校に配置。一校あたり年間550時間（一日2.5時間程度）を限度に派遣。</li> </ul>	<p>読書活動アシスタントを配置した後に、小学校の図書貸出冊数は前年比2.3倍に増加。また、学力テストの点数もアップするなどの副次的な効果も見込める。板橋区においても寺子屋教室や今後の放課後教室での展開も可能であり、事業導入に向けて提言していきたい。</p>
宮崎県 宮崎市 教育情報研修センター	子育て支援 パスポート事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校以下の子供がいる家庭に「パスポート」を配布し、協賛企業や店舗から子育てに関する特典や応援サービスを受けられることができる事業。</li> <li>・小学生以下の子供がいる世帯（約28,000世帯）が対象。</li> </ul>	<p>職員が導入にあたって商店を一店一店約1000店舗を地道に回り、協賛店を焼く350店舗を募集した努力と熱意に共鳴を覚えた。また、成功のポイントは協賛店の数が多いことであり、板橋区のすくすくカード事業のさらなる活性化に向けて参考にしたい。</p>
宮崎県	宮崎市 教育情報研修センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の職能別研修、基本研修、ニーズ研修など各種の研修と、宮崎市の情報センターとして、学校ホームページや電子メールなどを管理するホストコンピュータを備え、双方向衛生通信システムの管理運営を行う施設。市民へ無料開放空間も備えている。</li> </ul>	<p>中核市である宮崎市では、県の教員を研修することになっており、そのための研修センターであった。また開かれた施設として、教育指導上の相談活動も行っており、板橋区においても教員からの現場の声を吸い上げる仕組みを構築していく必要性を感じた。</p>
宮崎県	防災・防犯情報 メールサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県各市町村からの防災情報、宮崎県警からの防犯情報、各消防本部からの消防情報をPC・携帯電話に配信する事業。</li> <li>・現在約7,800人の登録者。</li> <li>・イニシャルコスト:約180万、ランニングコスト:年間約330万円。</li> </ul>	<p>ASPの防災・防犯情報伝達システムを利用することで、イニシャル・ランニングコストを抑えながら運用している点は参考にしたい。板橋区においては都や警察・消防などとの連携の中で、類似サービスの必要性を吟味していきたい。</p>

【宮崎市役所(12月17日)】



## 視察風景

### 【宮崎県庁(12月18日)】

